

| | | | |
|--------|--|-------|-----|
| プログラム名 | 現代世界建築を展望するー6 | 認定CPD | 2単位 |
| 開催日 | 2021年11月5日（金） 18：10～20：10 | | |
| 開催場所 | ウィンクあいち 1101中会議室（名古屋市市中村区名駅4丁目4-38） | | |
| 講師 | 建築ジャーナリスト 淵上正幸氏 | | |
| 担当理事 | 企画委員会 代表理事 西井信幸 | その他 | |
| 参加者 | NSK会員及びその所属20名、一般35名 計55名 二次会 22名（NSK関係13名、一般8名、スポンサー1名） （うちスポンサー企業6名）（会場定員50名）及びリモート31名（リモート定員50名） | | |
| 備考 | 協賛東芝エレベータ㈱、㈱坪井利三郎商店 後援（公社）愛知建築士会、（公社）愛知県建築士事務所協会、 （公社）日本建築家協会 東海支部愛知地域会 | | |

今年も新型コロナウイルスの影響で会場50名・リモート50名の企画で講演会を開催した。最終的な人数は会場はスポンサー含め55名（スポンサーを除くと49名）、リモート31名となった。前回と同じく遠くは兵庫県明石市からの参加もあった。また二次会は有志によるものであったが22名の参加となり、会場参加者約40%の出席率で嬉しい悲鳴となった。解散は22時過ぎと遅くまで淵上氏を囲んで和気あいあいと大盛り上がりの会となった。

講演は世界最先端の建築の紹介として、建築家順に1.ダニエル・リベスキンド（アメリカ）、2.バーナード・チュミ（アメリカ）、3.クリス・ヴァン・ドゥメイン（フランス）、4.MAD(中国)、5.スティーヴン・ホール（アメリカ）、6.ザハ・ハディド（イギリス）、7.ビャルケ・インゲルス（デンマーク）、8.ジーン・ギャング（イギリス）、9.ノーマン・フォスター（イギリス）、10.オーレ・シュレーン（ドイツ）の10者であった。その中で特に印象に残ったのが、6.ザハ・ハディドのドバイにある超高層のオフィスビルである。特に内部が溶け出すような穴(空間)は実はツインターで構成されている、全てザハによるデザインの最後の建築である。次に9.ノーマン・フォスターのコンカスト・テクノロジー・センターで、フィリデルフィアで一番高い341mのタワーである。エントランスの天井にアルファベットの文字が流れるのが印象的だ。

また、今回のスポンサーとして昨年からの東芝エレベータ㈱様、㈱坪井利三郎商店様で昨年・今年も合わせて今後5年継続していけたらと思っている。

そしてリモートにおいても今回2回目の試みであったが、リハーサルを行っても画像に反射が多く、大変見づらいとの苦情があり、リモートには今後細心の注意が必要であると反省している。後程リモート参加者に詫言状メールの送付と事前1,000円支払済対象者には返金を行うこととした。

リモート受講者様にお詫言した際、「淵上氏のHPで画像の確認が出来たので問題ないです」と仰って下さった方もいらしたので、最新建築に興味をお持ちの方々へ今後も淵上氏の最新情報をNSKから発信していく努力を続けていきたいと改めて思った。

（リモートご担当の皆様、大変ご苦勞様でした）

【会場風景】

